

シンポジウム

「科学の発展とイノベーションの実現を目指して」

- 第3期科学技術基本計画の意義と展開 -

<趣旨>

第3期科学技術基本計画は「社会・国民に支持され、成果を還元する科学技術、人材育成と競争的環境の実現」を基本的理念として、約25兆円の政府の研究開発資金を投入することにより我が国の科学技術の発展を目指して、本年4月からスタートする。

このシンポジウムでは、第3期科学技術基本計画を各界・各層において広く議論することを通じて、21世紀における日本の科学技術の発展とイノベーションの実現に向けて大学・産業界・政府のそれぞれに求められる具体的な取り組みと課題を討議する。

<主催>

内閣府
慶應義塾大学

<後援>

日本経済新聞社

<日時・場所>

開催日：平成18年3月30日（木）15時30分～18時00分

会場：慶應義塾大学・三田キャンパス・北館ホール

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

プログラム

	進行	総合科学技術会議議員	薬師寺 泰蔵
15:30 ~ 15:40	開会の挨拶	慶應義塾長	安西 祐一郎

第1部

	基調講演		
15:40 ~ 15:55	「科学技術創造立国に向けて」 内閣府特命担当大臣（科学技術政策）		松田 岩夫
15:55 ~ 16:10	「第3期科学技術基本計画の意義と今後の展開」 総合科学技術会議議員 基本政策専門調査会会長		阿部 博之

第2部

16:10 ~ 17:55	パネルディスカッション 「科学の発展とイノベーションの実現を目指して」		
パネリスト	(株)日立製作所取締役執行役社長 (社)日本経済団体連合会副会長 東京大学先端科学技術研究センター所長 文部科学省文部科学審議官 早稲田大学教授 国際純正・応用化学連合副会長 慶應義塾大学常任理事 (株)日本経済新聞社編集委員		庄山 悦彦 橋本 和仁 林 幸秀 松本 和子 村井 純 吉川 和輝
コーディネーター	慶應義塾大学教授		若杉 隆平
17:55 ~ 18:00	閉会の辞	内閣府政策統括官（科学技術政策担当）	丸山 剛司
18:00 ~ 19:00	交流会	慶應義塾大学・北館・ファカルティクラブ	